

兵庫県立こども病院



HYOGO PREFECTURAL
KOBÉ
CHILDREN'S
HOSPITAL

こどもたちに ホスピタル・ファシリティ ドッグ®を迎えるため、 ご支援をお願いします！

Gさん中学生

一緒にいると、嫌なことも苦しい
ことも全部忘れられた

当院について

総合周産期母子医療センター、小児救命救急センター、小児がん医療センター、小児心臓センターを中心に、こどもとご家族を支える"最後の砦"として、24時間体制で診療。急性期の高度集学的治療の提供と同時に、長期にわたり疾患とともに生活するこどもとご家族に対する支援・癒しの場としての機能も併せ持ちます。「こどもたちの笑顔を守り、未来につなぐ」をスローガンに闘病中のこどもたちに希望を与え、彼らの明るい未来を実現するために日々努力しています。

Kさん中学生

悩みや悲しみが深ければ深いほど、言葉はその人の心に届かないことがあります。そんな時、相手の心に寄り添いそばにいてあげる事がその人の力になれるという事を、ファシリティドッグが教えてくれました。



国立成育医療研究センター



国立成育医療研究センター

ホスピタル・ ファシリティドッグ®について

ホスピタル・ファシリティドッグ®は、医療チームの一員として特定の病院にハンドラー（ペアを組む臨床経験のある医療従事者）と共に常勤します。ファシリティドッグが寄り添うことにより、小児がんや重い病気のこどもたちが治療を前向きに捉え、自尊心を保てるよう、こどもたちとその家族の生活の質の向上を目指す活動です。ときどき訪れて短い時間だけふれ合うのではなく、同じ犬がいつもそこにいて多くの時間を繰り返し過ごせることが、入院治療しているこどもたちの心の励みになります。



神奈川県立こども医療センター

ご家族の声

そんなピンと張った病棟の空気感を、ふわ〜っとやってきて、壊していくのがファシリティドッグだったんです。

ホスピタル・ ファシリティドッグ®が できること



©petomoni

ふれあいや遊びによる支援、ベッドでの添い寝

緩和ケアでの寄り添い

検査や治療への介入

- ・薬が飲めない、採血・点滴ルート確保時の応援
- ・手術室・検査への移動の付き添い
- ・全身麻酔導入まで、骨髄穿刺・腰椎穿刺など処置中の付き添い
- ・リハビリテーションの応援



神奈川県立こども医療センター



兵庫県立こども病院 院長
飯島 一誠

ファシリティドッグのサポートは、長期入院中のこどもたちの療養環境を大きく改善します。こどもたちの笑顔を増やし、治療への前向きな気持ちを育むファシリティドッグ導入に、皆様のご支援をお願いいたします。



病院ホーム
ページは
こちら



病院公式
Instagram



〒650-0047
神戸市中央区港島南町1丁目6-7
TEL: 078-945-7300

ホスピタル・ファシリティドッグ® は認定NPO法人シャイン・オン・キッズの登録商標です。写真提供: 同法人